

竜王町人口ビジョン、竜王町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

将来消滅可能性自治体からの脱却に向けて、行政や町民、企業、団体、自治会などが結集し、連携を強化しながら課題の克服に取り組み、子や孫の世代も安心して暮らし続けられる地域をめざします。
(消滅可能性自治体とは、日本創成会議から2040年(H52)に20～39歳の女性の人口が5割以上減少すると推計される自治体のこと。)

竜王町人口ビジョン【期間:2015年(H27)～2060年(H72)】

1 人口に関する主な現状と課題

- ◎本町の総人口は1995年(H7)をピークにゆるやかな減少傾向にあり、少子高齢化が進んでいます。
- ◎人口構成は、町内にある大手自動車工場が設置する従業員用の寮への入寮者により、20歳代が多くなっています。
- ◎住宅の受け皿が乏しいため、20～30歳代の転出超過が続いています。
- ◎若い世代の未婚化が進んでいます。

【課題の克服のポイント】

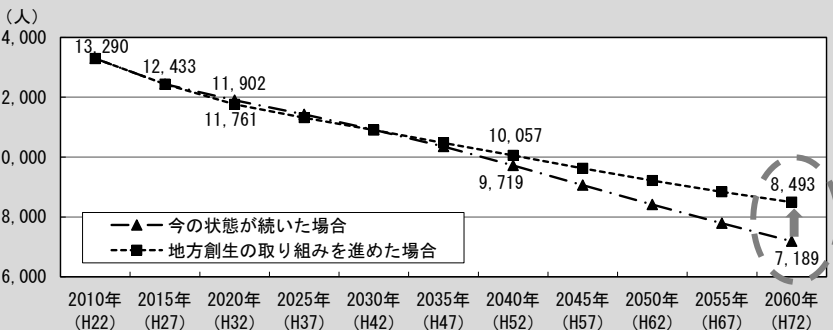
- ①若者に焦点を当てる ②人口減少と向き合う ③地域を見つめ直す

2 めざすべき将来像

(1) 地方創生の取り組みの推進

地方創生の取り組みとして、合計特殊出生率の向上や若者の転出超過の改善を図ります。

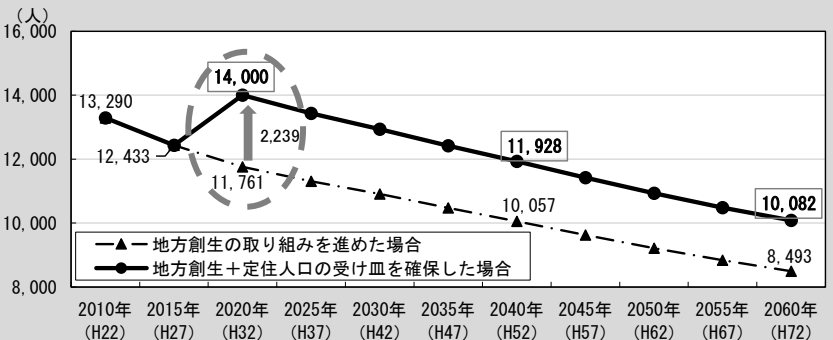
■将来人口推計



(2) 定住潜在者への定住誘導および定住人口の受け皿の確保

滋賀竜王工業団地の整備などをきっかけとした新規定住潜在者をはじめ、町内への定住の可能性のある人に対して定住人口の受け皿を確保し、定住誘導を図ります。

■将来人口推計



消滅可能性自治体からの脱却に向けた、定住人口の確保

将来人口目標

2020年(H32)に
14,000人

めざすべき方向性

- ①人口減少に歯止めをかける
- ②人口減少を見据えたまちづくり
- ③人と人、自然とともに安心して暮らし続けられる竜王町らしいまちづくり

将来人口目標

2040年(H52)に
12,000人
2060年(H72)に
10,000人

竜王町まち・ひと・しごと創生総合戦略【期間:2015年(H27)～2019年(H31)】

消滅回避戦略 ～14,000人をめざす戦略～

消滅回避目標1

14,000人が暮らすまちをつくる
～定住に向けた受け皿づくり～

- (1) ニーズに合わせた住宅の整備 ⇒ 町有地の活用、空き家の活用の推進等
- (2) 魅力あるまちづくり ⇒ 住宅ニーズの把握、移住・定住の促進に向けた支援の充実等

消滅回避目標2

「働く」「暮らす」希望がかなうまちをつくる
～人を呼び込む雇用の創出と町の魅力発信～

- (1) 滋賀竜王工業団地をはじめとした企業誘致の推進による雇用の創出 ⇒ 進出企業への優遇制度、地元雇用の推進等
- (2) 地域内・外の若者への魅力発信 ⇒ まちの魅力の発信力強化、町内在住の若者への定住意識の醸成等
- (3) 開かれた地域社会への意識醸成 ⇒ 地域の意識づくり、新規入居者と地域との交流機会の創出

未来創生戦略 ～人口減少抑制、人口構造の変化に向けた戦略～

未来創生目標1

竜王町で働く喜びを創生する
～産業の振興による安定したしごとをつくる～

- (1) 町内立地企業への支援による安定的な雇用の創出 ⇒ 就労者の定着促進、継続的な雇用の創出等
- (2) 商工業の振興と新たな取り組みへの挑戦 ⇒ 企業・事業所・商工会の連携強化、創業支援等
- (3) 特色ある農業の推進と担い手の確保 ⇒ 特産物のブランド化・販売促進、農業後継者の確保等
- (4) 地域資源を活かした観光産業の振興 ⇒ 観光施設のネットワーク化の推進、観光施設の整備の促進等

未来創生目標2

「ふるさと竜王」を創生する
～結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる～

- (1) 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充実 ⇒ 産前・産後の支援、子育てに関する相談支援の充実等
- (2) 若い世代の暮らしの安定 ⇒ 若者の出会いの場の創出、子育てに対する経済的支援の充実等
- (3) 郷土愛を育む教育の推進 ⇒ キャリア教育・ふるさと教育の推進、地域を挙げた学校支援の推進等

未来創生目標3

幸せな暮らしを創生する
～いつまでも安心して暮らせる活力あるまちづくり～

- (1) 安心・安全な生活環境の確保 ⇒ 地域防災力の向上、移動手段の確保、健康づくりの推進等
- (2) 活気ある交歓機会の創出 ⇒ まちに関わりのある人・団体の活動支援、コミュニティ活動支援の充実等
- (3) 移住・定住の促進 ⇒ 地域が主体となった情報発信の仕組みづくり、町有財産の活用等

総合計画の核である総合戦略を着実に進めることで目標を達成する

竜王町における現状や将来展望を踏まえて目標を設定